



まっすぐ! ▶ あなたに。
まっすぐ! ▶ 未来へ。

京都市議員 西山のぶまさ



下京 まっすぐ! ジャーナル

Shimogyo Massugu Journal

第4号 2017. January

京都市議員 西山のぶまさ事務所
京都市下京区大宮通木津屋橋上る上之町417-1
ナカキンスフラット201号室 〒600-8266
TEL: 075-746-2725 FAX: 075-320-2454
✉ n.n.massugu24@gmail.com

2017年 西山のぶまさ “まっすぐ”スタート!

2017年が幕を開けました。西山のぶまさは、平成29年度予算を審議する2月市会に向けて、準備を進めています。

本年も、「まっすぐ! こどもが輝く社会へ」「まっすぐ! 安心・安全な暮らしへ」「まっすぐ! 魅力ある下京のまちづくりへ」——全力で走りぬいてまいります。



平成29年度予算編成に 対する要望書を提出

公明党京都市議員団は、昨年11月29日、平成29年度の京都市予算編成にあたり、重点70項目を含む233項目の要望書を門川大作市長に提出しました。「子ども若者はぐくみ局」の創設に伴う子育て支援の充実や、防災・減災対策の強化など、“希望がゆきわたる”京都市政を目指して、しっかり取り組んでまいります。

9月市会で市長総括質疑に登壇

9月21日から10月26日まで開催された平成28年9月市会。決算特別委員会が設置され、平成27年度決算を審議しました。西山のぶまさは、10月18日、市長総括質疑に登壇。市からは、すべての質問項目に前向きな答弁を得ることができました。

●西山のぶまさの質問要旨

1 皆で支え合う地域をつくるために

超高齢社会で安心して暮らせる社会をつくるには、皆で支え合う地域づくりが急務です。より多くの市民の皆様は“支える側”に回っていただくための取り組みや、小・中学校における福祉教育の推進について訴えました。市からは「オール京都、市民ぐるみでできるように支援していきたい」との答弁がありました。

2 「切れ目のない子育て支援」の充実を

以前の代表質問でも訴えた「切れ目のない子育て支援」の充実について、再び問いいただきました。これまで福祉事務所と保健センターに分かれていた窓口が「子どもはぐくみ室」として一本化される予定で、ワンストップサービス(一つの場所で様々なサービスが受けられる)として期待がふくらみます。

3 マスコットキャラクターの戦略的な活用を

京都市のマスコットキャラクターはたくさんありますが、知名度や活用状況にばらつきがあり、どれだけあるのかもわかりにくい状況です。市として、もっと戦略的にマスコットキャラクターを活用するよう検討を求めました。

4 図書館における雑誌の付録の有効活用を

現在、市立図書館では、雑誌の付録(バッグなど、販売促進を目的とする物品)は活用されことなく処分されています。自治体によっては、図書館事業における景品として利用している例もあり、今後の有効活用を求めました。

まっすぐ!▶あなたに。西山のぶまさの日々の活動から

「健康長寿のまち・京都」の実現に向け全力!

京都市では、市民ぐるみで健康づくりに取り組む「世界一健康長寿のまち・京都」推進プロジェクトが始動しました。西山のぶまさも、この取り組みが大きく広がるよう全力投球しています。

●健康遊具で健康づくりを

西山のぶまさ、初めての代表質問(平成27年5月市会)で取り上げたのが、公園に健康遊具の設置を促進することでした。今でも市民の皆様から要望が多く、さらなる設置に向け、検討を進めています。

・健康遊具が設置されている公園(下京区)

梅小路公園 光徳公園 綾西公園 比輪田公園



●第2回「下京まっすぐフォーラム」を開催

昨年11月26日、第2回西山のぶまさ市政報告会「下京まっすぐフォーラム」を開催しました。最初に西山のぶまさの登壇。諸活動の報告と一緒に、「健康長寿のまち・京都 いきいきポイント」の取り組みを紹介しました。

その後、歯科医師の林誠司先生が「きってもきれない歯と健康の関係」と題して講演。歯の健康が全身の健康に与える影響などをわかりやすく解説してくださり、多くの参加者が歯の大切さをあらためて感じる集いとなりました。



●いきいきポイントの取り組みにご参加を

皆さんは、「いきいきポイント」をご存知ですか?健康に関して、毎日取り組む目標を設定し、健診を受けたり、健康イベントに参加したりすることによってポイントが貯まる仕組みです。50ポイント以上貯まるとプレゼントに応募でき、抽選で健康づくりに役立つグッズなどが当たります。

第2回応募締切は、3月10日(金)。手帳は、区役所・保健センターなどで配布されています。

詳しくは「健康長寿のまち・京都」ポータルサイトをご覧ください。

<http://kenkochoju.kyoto>



まっすぐ!▶未来へ。西山のぶまさからのメッセージ

第2回西山のぶまさ市政報告会「下京まっすぐフォーラム」で、参加者アンケートを実施しました(有効回答178名)。

それによると、「いきいきポイントを知っていた人」は10名(約6%)にすぎず、実際に手帳を活用し「取り組みをしている人」は、残念ながら0名でした。京都市も様々な趣向をこらし、多くのイベントで配布するなど、力を入れて推進していたので、もう少し多くの人に取り組んでいただいていると期待していました。少々残念な結果です。

しかし、フォーラムに参加したことで、「いきいきポイントを始めようと思った人」が71名(約40%)にのぼり、講演で取り上げた「歯の健康」についても「フォーラムに参加して何か取り組みを始めようと思った人」が、実に127名(約71%)になりました。これは素晴らしい結果です。

取り組みを知ってもらう機会を積極的に設ければ、多くの方に「やってみよう」と思っただけのことを実感するとともに、今回



のフォーラムのように、私自身が率先して行動を起こせば、微力ながらも、その一翼を担えるということも深く自覚できました。

「健康長寿のまち・京都」を実現するためには、一人でも多くの皆様に、市民ぐるみで参画していただく必要があります。それは決して、健康長寿の問題だけではありません。防災、環境、教育など、私たちの目の前には、一人でも多くの市民の皆様の参画なしには克服できない課題がたくさんあります。そして、そのためには、何よりもまず自分自身が立ち上がること——2017年のスタートにあたり、その原点を改めて深く決意させていただきました。

私、西山のぶまさ、皆様に選んでいただいた市議員として、また、一人の市民として、自分ができることは何かをしっかりと考え、率先して行動し、本年も「まっすぐ」、下京のため、京都のために走り抜いてまいりますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

▶西山のぶまさ ホームページ <http://www.nishiyama-massugu.net/>



地域チカラ